

2014 年 5 月 8 日

各 位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2014年3月期 当期純利益は前期比67%増の1,868億円 5期連続増益、ROE10%の経営目標を2年前倒しで達成

2014年3月期（2013年4月1日～2014年3月31日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前期比27%増の13,417億円と、過去最高の営業収益を計上しました。税引前当期純利益は同64%増の2,837億円、当期純利益は同67%増の1,868億円で、5期連続の増益となりました。また、ROE10%の経営目標も2年前倒しで達成しました。

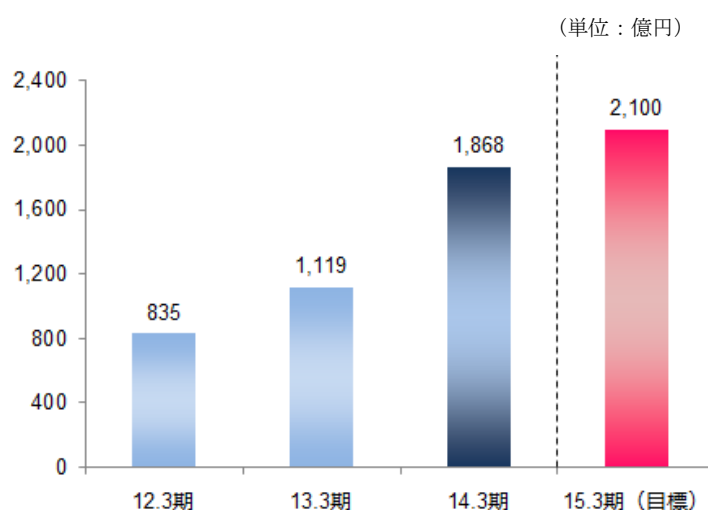
■ 主な経営指標の推移

	2013 年 3 月 期	2014 年 3 月 期	増減率
営業収益	10,558 億円	13,417 億円	27%
税引前当期純利益	1,726 億円	2,837 億円	64%
当期純利益 (※)	1,119 億円	1,868 億円	67%

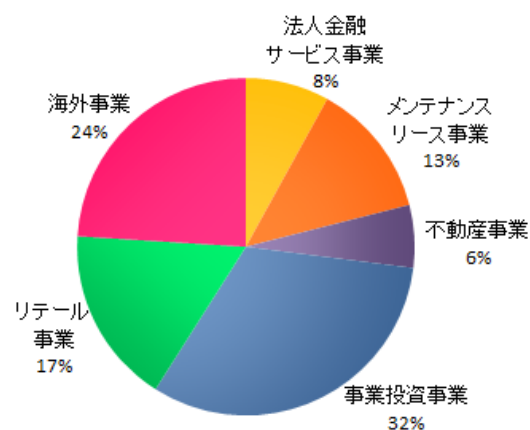
	2013 年 3 月 期	2014 年 3 月 期	増減率
総資産	84,397 億円	90,694 億円	7%
セグメント資産	63,827 億円	72,814 億円	14%
株主資本 (※)	16,436 億円	19,187 億円	17%
株主資本比率 (※)	19.5%	21.2%	—

(※)「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『14/3期のセグメント利益内訳』



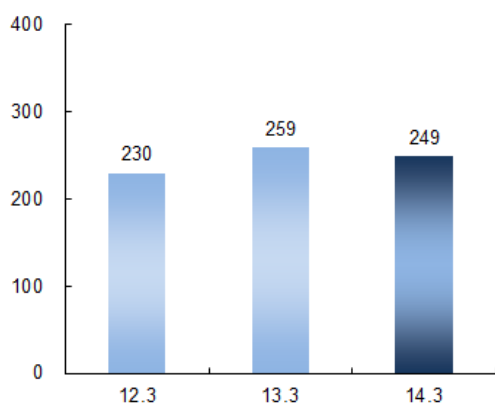
■ 各セグメントの業績概要（2013年4月1日～2014年3月31日）

当期のセグメント利益は「海外事業部門」におけるロベコの買収、および「事業投資部門」における大京の連結子会社化が、全体を大きく底上げしました。加えて、「不動産事業部門」において前期に比べて利益が大きく増加するとともに、「メンテナンスリース事業部門」「リテール事業部門」が高い利益水準で推移しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

＜セグメント利益＞ （単位：億円）

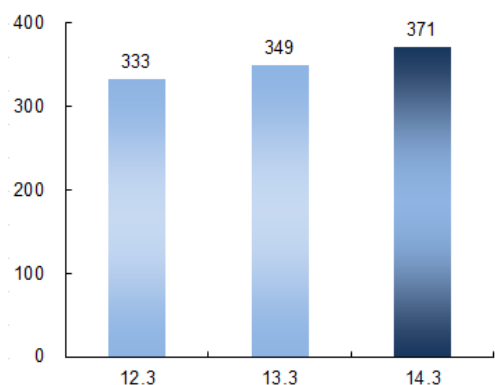


- ・ファイナンス・リース収益は、資産の増加に伴い堅調に推移。
- ・営業貸付金の平均残高減少に伴い、貸付金収益が減少。
- ・セグメント利益は、前期比 4%減の 249 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

＜セグメント利益＞ （単位：億円）



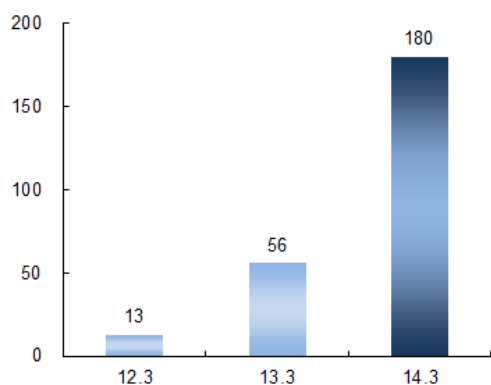
- ・コスト削減などの企業ニーズに対応した高付加価値サービスを提供し、利益は高水準で安定推移。
- ・資産残高の増加によりオペレーティング・リース収益が増加。
- ・セグメント利益は、前期比 6%増の 371 億円を計上。

【事業投資事業部門】

【不動産事業部門】 プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）

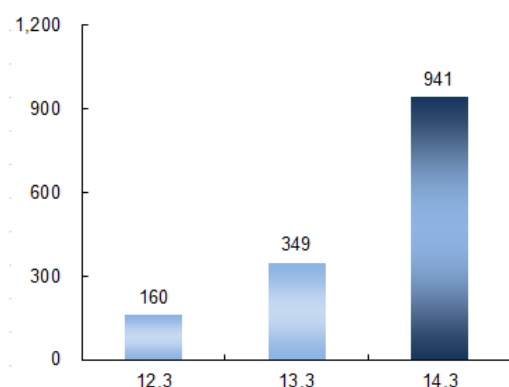
不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

＜セグメント利益＞ （単位：億円）



- ・運営事業が堅調に推移
- ・賃貸不動産売却益が増加、有価証券評価損が減少。
- ・セグメント利益は、前期比 222%増の 180 億円を計上。

＜セグメント利益＞ (単位：億円)

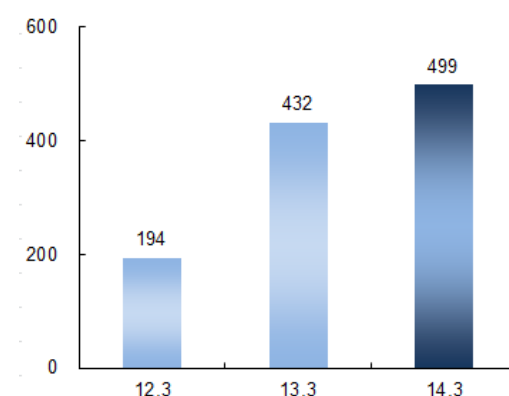


- ・ 前期に買収した投資先からの収益が増加。
- ・ 大京の連結子会社化に伴う株式評価益を計上。
- ・ セグメント利益は、前期比 169%増の 941 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

＜セグメント利益＞ (単位：億円)

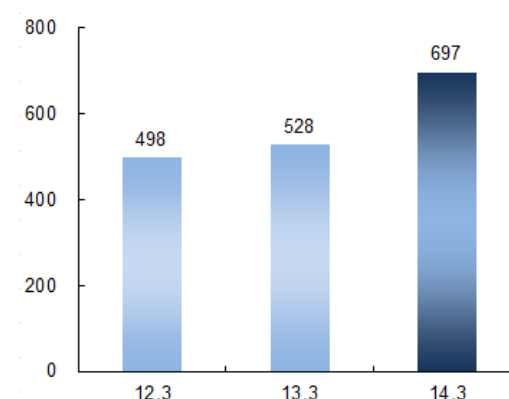


- ・ 生命保険事業は、保有契約数の伸長による保険料収入の増加に加え運用収益が順調に伸長。
- ・ 住宅ローン残高が増加し、貸付金収益が増加。
- ・ セグメント利益は、前期比 15%増の 499 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

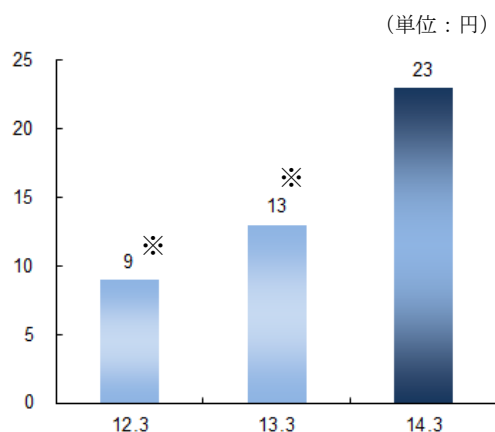
＜セグメント利益＞ (単位：億円)



- ・ ロベコの連結子会社化に伴いアセットマネジメント収益が増加。
- ・ アジアのリース収益や航空機のオペレーティング・リース収益が増加。
- ・ セグメント利益は、前期比 32%増の 697 億円を計上。

■ 当期の配当金

利益成長を踏まえて、当期の1株あたりの配当金は、前期の13円(※)から10円増配し、23円といたします。



※2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。過年度の配当金についてはそれを考慮して記載しています。

■ 2015年3月期の連結業績目標と今後の方向性

2015年3月期の営業収益は当期比34%増の18,000億円、当期純利益は同12%増の2,100億円で、過去最高益を目指します。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“中長期的な成長に向けた新機軸の確立”を掲げ、環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
グループ広報部 堀井・石井 TEL : 03-3435-3167